

事後評価調書(案)

I 事業概要																											
事業名	農業農村整備事業(たん水防除事業)																										
地区名	ごほちにき 五八二期地区																										
事業箇所	津島市、あま市																										
事業のあらまし	<p>本地区は、愛知県の西部に位置し、二級河川目比川と二級河川大江川に挟まれた流域面積354.9haの低平な地域である。地区内の排水は、3か所の排水機場(五八排水機場、五八新排水機場、五八第2排水機場)により、二級河川目比川へ強制排水していた。</p> <p>しかし、流域開発による降雨流出量の増加や既設排水機場の老朽化に伴う排水能力の低下により、地区の排水状況は著しく悪化し、豪雨時にはしばしば農地や農業用施設、公共施設等に湛水被害が生じていた。</p> <p>このため、機能低下が著しい五八排水機場と五八新排水機場を更新整備(1機場に統合)することにより湛水被害を防止し、農業経営の安定と県民生活の安全・安心を図ることを目的として、2006年度からたん水防除事業五八二期地区を実施し、2014年度に完了した。</p>																										
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <p>機能低下した既設排水機場を更新整備し、農地、農業用施設及び公共施設等の湛水被害を防止する。 (計画基準雨量 336mm/3日、1/20年確率雨量)</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																										
事業費	事業費		内訳																								
	12.4億円		■工事費 11.1億円、■用補費 0.7億円、■その他 0.6億円																								
事業期間	採択年度	2006年度	着工年度	2008年度	完成年度	2014年度																					
事業内容	排水機場 1か所																										
II 評価																											
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>事業完了年度からの5年間で、最大3日連続雨量は2017年10月21日~10月23日に295.5mm(最大1時間雨量38.0mm)を観測したが、農地や公共施設等の湛水被害は発生していない。</p> <p>降雨実績 (蟹江観測所降雨データ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>2014</th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大3日連続降雨量</td> <td>336.0mm</td> <td>110.0mm</td> <td>128.5mm</td> <td>196.5mm</td> <td>295.5mm</td> <td>137.0mm</td> </tr> <tr> <td>(最大1時間降雨量)</td> <td>(54.1mm)</td> <td>(12.5mm)</td> <td>(60.5mm)</td> <td>(61.0mm)</td> <td>(38.0mm)</td> <td>(13.0mm)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>最大3日連続雨量は計画基準雨量以下であるが、最大1時間雨量では計画以上の雨量に対して湛水被害は発生しておらず、本事業は地域の農業経営の安定と県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。</p>					区分	計画	2014	2015	2016	2017	2018	最大3日連続降雨量	336.0mm	110.0mm	128.5mm	196.5mm	295.5mm	137.0mm	(最大1時間降雨量)	(54.1mm)	(12.5mm)	(60.5mm)	(61.0mm)	(38.0mm)	(13.0mm)
	区分	計画	2014	2015	2016	2017	2018																				
最大3日連続降雨量	336.0mm	110.0mm	128.5mm	196.5mm	295.5mm	137.0mm																					
(最大1時間降雨量)	(54.1mm)	(12.5mm)	(60.5mm)	(61.0mm)	(38.0mm)	(13.0mm)																					
2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>																										

②事業効果の発現状況

【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】

項目		計画	実績 (2019)	備考
事業期間		2006~2012 (7年間)	2006~2014 (9年間)	
事業費 (億円)	工事費	16.9	11.1	
	用地補償費	0.7	0.7	
	その他	1.8	0.6	
	合計	19.4	12.4	7.0億円減
効果の 算定要因	流域面積	354.9ha	354.9ha	増減なし
	農地面積	139.4ha	133.2ha	6.2ha減
	宅地等面積	215.5ha	221.7ha	6.2ha増

【事業期間に対する評価】

計画時より事業期間を2年延長したが、既存の排水機場を活かしながら工事を進めたため、湛水被害等は発生しておらず、期間延長による影響はなかった。

【事業費に対する評価】

工事費の積算精査及び工事の入札結果（請負差額）等により、事業費が7.0億円減で事業完了できた。

【効果の算定要因に対する評価】

計画時と比較して、流域面積の増減はなく、農地面積は微減している。
排水機場の整備により湛水被害が防止されており、効果については、概ね計画どおり発現していると評価できる。

③事業実施による環境の変化

施工にあたり、低振動、低騒音の作業機械を使用し、既設の排水路、遊水池に生息する魚類が、工事施工箇所に入らないように注意して施工することにより、自然環境や生活環境へのマイナスの影響はほとんどない。

Ⅲ 対応方針（案）

今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。
同種事業に反映すべき事項	更新整備を行う場合は、既設の施設を活かしながら施工するなど、事業実施中においても湛水被害防止に配慮する。

Ⅳ 事業評価監視委員会の意見

Ⅴ 対応方針